

町民の皆さんと町政を結び

『広報かねがさき』は800号をむかえました。

1955（昭和30年）年3月1日、旧金ヶ崎町と永岡村の合併により、現在の金ヶ崎町が誕生しました。
 広報かねがさき第1号（1955年6月15日発行）から65年にわたり、町からのお知らせやまちの出来事、町民の皆さんの声などを発信してきた『広報かねがさき』の歴史を振り返ります。



1955（昭和30）年6月15日

▶及川^{みつぐ}町長は「そこに町民の共通した利益が発見され、共通の悩みが一つ一つ具体的に解消されてゆくならば、断じてそれを成し遂げなければならない」と述べている▶幼稚園で発生した集団赤痢など



第1号では町章を募集していました



1967（昭和42）年3月

▶勲六等瑞宝賞を受けた石田卯右工門さん▶赤ちゃんコンクールで坂本聖二ちゃん（本町）が知事賞を受賞など



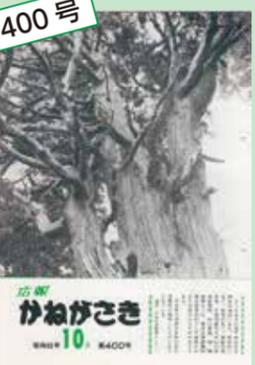
1979（昭和54）年3月

▶6地区に生涯教育センター設置し、教育によってまちづくりを進めると報じる



1971（昭和46）年6月

▶この頃は月2回発行▶特集では、胆江6市町村の境を越えて進む地域づくりを共同編集



第700号



第600号



第500号



2014（平成26）年10月

▶まちの話題など、現在の広報のベースとなる紙面構成▶生物多様性に関するアンケート結果を紹介

2004（平成16）年6月

▶むし歯のない3歳児など、現在も存在しているコーナー▶障害者保健福祉計画について特集

1996（平成8）年2月

▶昭和63年4月からA4サイズに。平成5年12月から一部ページがカラー印刷になる

広報をつくる

町民の皆さんのご協力のもと制作している広報紙。制作までの流れを紹介します。

『広報かねがさき』は総務課広報公聴係で制作しています。

ここでは、広報ができるまでの流れを紹介します。

広報制作に欠かせないのが情報です。町民の皆さんからの情報をお持ちしておりますので、お気軽にご連絡ください。

☎ 総務課（内線 2319）

1 企画

広報の大まかな内容を決めます。「健幸ポイント事業に興味をもって取り組んでもらいたい」「金ヶ崎高校のことをもっと知ってもらおう」など、町から皆さんに知ってほしいことや伝えたいことを「特集」として4ページ程度の企画を作ります。



2 取材

インタビューしたり、写真を撮ったりするほか、資料を読んで調べて情報を収集することも取材です。広報への情報提供や掲載依頼、各部署からの原稿の締め切りは原則発行月の1日までとしています。発行日間近の場合は翌月に掲載しています。



3 編集

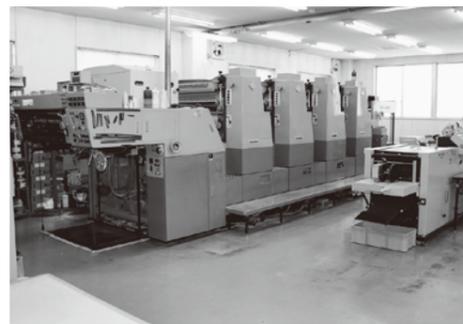
取材で集めた情報を誰にでも読みやすいように紙面にまとめる作業が編集です。「取材は足し算、編集は引き算」と言われ、たくさん集めてきた情報の中から、必要な情報を選んで、間違いなく伝わる文章、読みやすいレイアウトにしていきます。文字のフォントはユニバーサルデザインのフォントを使っています。



広報を制作しているパソコン

4 印刷

編集後のデータを印刷業者に持っていき、印刷してもらいます。印刷会社では、写真の仕上がりの調整のほかに、色覚障がい者に配慮した色使いに気を付けた色の調整も行っています。印刷してもよい状態になることを「校了」と言い、校了した広報は印刷業者によって、約5,800部分の広報を3日程度で印刷します。本年度は、(有)金ヶ崎印刷が印刷業務を請け負っています。



広報紙を印刷する(有)金ヶ崎印刷の印刷機